

市政運営

問 成果、また道半ばと思われることとは。

答 合併以降、一日も早く旧浅羽町と旧袋井市が一体になるよう強く願う、まちづくりの全力で取り組んできたこと。第一三共跡地の企業誘致、駅南の土地利用促進には、今後、もう一步踏み込んだ姿勢を出していくことを考えている。

問 政治姿勢を市民はどの様に受け止めていると考えるか。

答 袋井市は人口が増え、県内で2番目に若いまちである。市民が健康で安心・安全に暮らせることを願って、取り組んだ結果の評価である。

苦悩する自治会組織への対応

問 自治会の現状と今後をどの様に見ているか。

答 自治会加入率は近隣市町と比較して高いが、将来的には役員のなり手が少なくなり、自治会運営が非常に厳しくなることを危惧している。

問 横並びでない自治会や課題へのそれぞれの対応は。

答 自治会の規模や地域特性がそれぞれ

異なるので、個々の相談により対応している。役員の選出方法など、効果的な取り組み事例を共有化して円滑な運営につなげたい。

「原野谷川ふるさと」の川モデル事業」を問う

問 整備計画にある散策道はどの様になっているか。

答 堤防の中段にコースを設定し、静橋から曙橋まで周遊できるように整備は完



モデル計画の中の広愛大橋を中心としたにぎわいのある親水ゾーン (イメージ図)

了している。維持管理は「市民環境ネットワークふるろい」の活動を支援していきたい。

問 水上ステーション実現の可能性はどうか。

答 河川への設置は、構造的な問題などでやめた。今後は、イベント主催者等から申請があれば、支援したい。

食物アレルギーへの対応は

問 学校給食センターにおける状況はどうか。

答 幼小中で80人に対応しているが、年々増加の傾向にある。アレルギー除去は9品目で、代替食には、卵焼きを豆腐ハンバーグに、えびフライをささみフライにといった対応をしている。

食物アレルギーについての他の質問項目

- ・乳幼児へ、早い段階からの計画的な指導体制と各分野の連携強化を。
- ・わかりやすいパンフレット作成はどうか。
- ・生活管理指導表の補助金導入の考えは。

代表質問の質問時間

代表質問の質問時間は、会派の人数によって異なります。

1会派あたり 20分 + (会派の人数×5分)

自民改革クラブ	20分+	(4人×5分)	=	40分
市民くらぶ	20分+	(2人×5分)	=	30分
緑風会	20分+	(5人×5分)	=	45分
新生ふるろい	20分+	(6人×5分)	=	50分